

フロイント産業株式会社  
「経済産業省認定GNT企業」

**JASDAQ**  
(証券コード 6312)

# 2021年2月期 決算説明資料

2021年4月22日

 **FREUND**

## 目次

---

- 2021年2月期 連結決算概況 . . . P.02
- 2022年2月期 連結業績・配当予想 . . . P.15
  
- 中期経営計画 . . . P.19
  
  
- <参考資料> . . . P.26
- <Factsheet> . . . 別紙

# 2021年2月期 連結決算概況



## 連結決算サマリ

- 連結売上高は前期比横這い
- 連結営業利益は前期比ほぼ倍増の11億47百万円
- 連結当期純利益は前期比約2.6倍の9億95百万円
- 機械受注高は前期比21.1%増、受注残高は前期比40.9%増

(単位：百万円)

	2020/2月期 実績	2021/2月期		前期比増減	
		実績	期初予想	金額	%
売上高	16,772	16,765	17,800	△7	△0.0%
営業利益	558	1,147	1,000	+589	+105.5%
経常利益	582	1,344	1,000	+762	+130.7%
当期純利益	381	995	700	+614	+161.0%
一株純利益 (円)	22.79	59.47	41.80	+36.68	-
受注高	10,227	12,386	-	+2,159	+21.1%
受注残高	4,695	6,615	-	+1,920	+40.9%
設備投資	951	637	-	△314	△33.0%
減価償却費	386	414	-	+27	+7.2%
研究開発費	725	526	-	△199	△27.4%
ROA	2.1%	4.9%	-	-	-
ROE	2.9%	7.3%	-	-	-

## 機械部門：概況

### ● 分野別売上高

- 医薬品関連：ポストGE80%後のGEメーカーの設備需要は引き続き弱含みながら、国内市場は堅調に推移、海外市場はブラジル向けの不振により低調
- 産業関連：コロナ禍による化学・産業機械メーカーの需要減退により7.8%減

### ● 分野別受注

- 医薬品関連：顧客ニーズを捉えた営業活動と大口受注により26.2%増加
- 産業関連：需要環境弱く苦戦

(単位：百万円)

	2020/2月期		2021/2月期	
	金額	前期比(%)	金額	前期比(%)
<b>売上高</b>	<b>11,118</b>	<b>△ 10.1</b>	<b>11,171</b>	<b>+ 0.5</b>
医薬品関連	9,357	△ 7.9	9,547	+ 2.0
産業関連	1,760	△ 20.2	1,623	△ 7.8
<b>営業利益</b>	<b>311</b>	<b>△ 57.8</b>	<b>1,084</b>	<b>+ 248.5</b>
<b>受注高</b>	<b>10,227</b>	<b>△ 13.6</b>	<b>12,386</b>	<b>+ 21.1</b>
医薬品関連	8,478	△ 16.9	10,697	+ 26.2
産業関連	1,749	+ 7.0	1,689	△ 3.4
<b>受注残高</b>	<b>4,695</b>	<b>△ 13.5</b>	<b>6,615</b>	<b>+ 40.9</b>
医薬品関連	4,156	△ 17.5	5,890	+ 41.7
産業関連	538	+ 38.6	725	+ 34.6
<b>為替 (円/ドル：+は円安)</b>	<b>109.0</b>	<b>△ 1.5円/ドル</b>	<b>106.0</b>	<b>△ 3.1円/ドル</b>

## 機械部門：グループ会社別動向

- 単体 : 国内売上はほぼ計画通り。海外は中国・インド向けが好調
- FREUND-VECTOR社 : ブラジル向けが低調により減収となるも、  
米国政府によるコロナ対策の補助金等、経費削減により増益
- フロイント・ターボ社 : コロナ禍による主に上半期の化学・産業機械メーカーの需要減退により減収

(単位：百万円)

	2020/2月期		2021/2月期	
	金額	前期比(%)	金額	前期比(%)
<b>売上高</b>	<b>11,118</b>	<b>△10.1</b>	<b>11,171</b>	<b>+0.5</b>
単体 ※	6,254	△11.6	6,838	+9.3
FREUND-VECTOR社 ※	3,994	△3.3	3,580	△10.4
フロイント・ターボ社 ※	1,522	△18.4	1,422	△6.6
<b>営業利益</b>	<b>311</b>	<b>△57.8</b>	<b>1,084</b>	<b>+248.5</b>
単体	308	△57.9	753	+144.4
FREUND-VECTOR社	△ 53	-	304	-
フロイント・ターボ社	56	-	26	△53.3
<b>受注高</b>	<b>10,227</b>	<b>△13.6</b>	<b>12,386</b>	<b>+21.1</b>
単体	5,920	△11.3	7,398	+25.0
FREUND-VECTOR社	2,955	△25.9	3,282	+11.1
フロイント・ターボ社	1,351	+14.7	1,293	△4.3
<b>受注残高</b>	<b>4,695</b>	<b>△13.5</b>	<b>6,615</b>	<b>+40.9</b>
単体	3,863	△3.1	4,618	+19.5
FREUND-VECTOR社	436	△64.6	841	+92.6
フロイント・ターボ社	395	+92.0	503	+27.4

※ 連結消去前

## 機械部門：地域別動向

- 日本 : 国内向けはほぼ計画通り
- 北米・中南米 : コロナ禍により中南米（ブラジル）向けが低調
- 欧州・アフリカ : イタリア向け大口案件が寄与
- 中東・アジア・大洋州 : 中国・インド向けが好調

(単位：百万円)

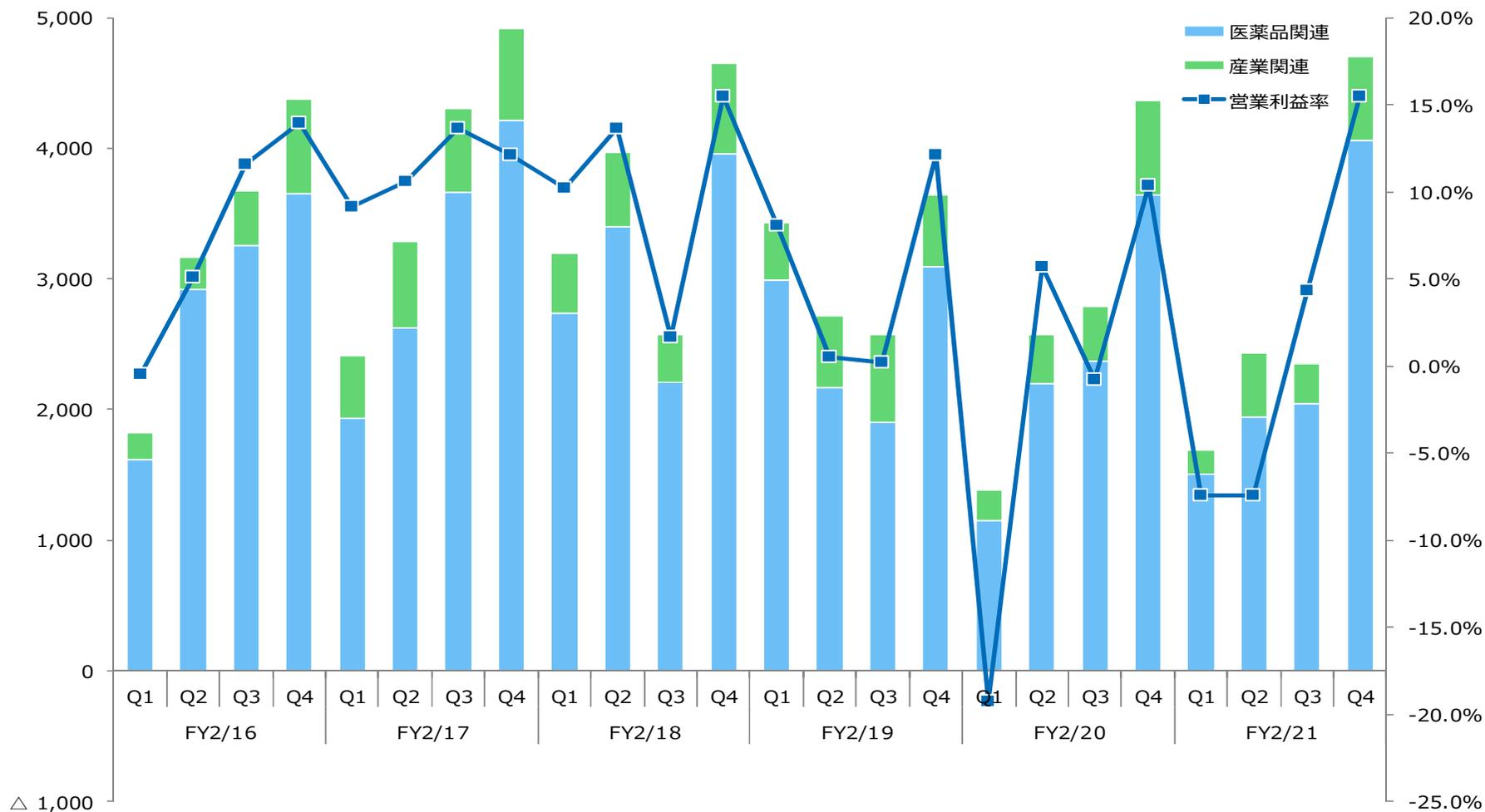
	2020/2月期		2021/2月期	
	金額	前期比(%)	金額	前期比(%)
売上高	11,118	△10.1%	11,171	+0.5%
日本	6,696	△8.4%	6,696	+0.0%
海外	4,422	△12.5%	4,474	+1.2%
北米・中南米	2,915	△13.0%	2,346	△19.5%
欧州・アフリカ	452	+13.8%	578	+27.9%
中東・アジア・大洋州	1,054	△19.2%	1,550	+47.0%

# 機械部門：四半期売上推移（分野別業績）

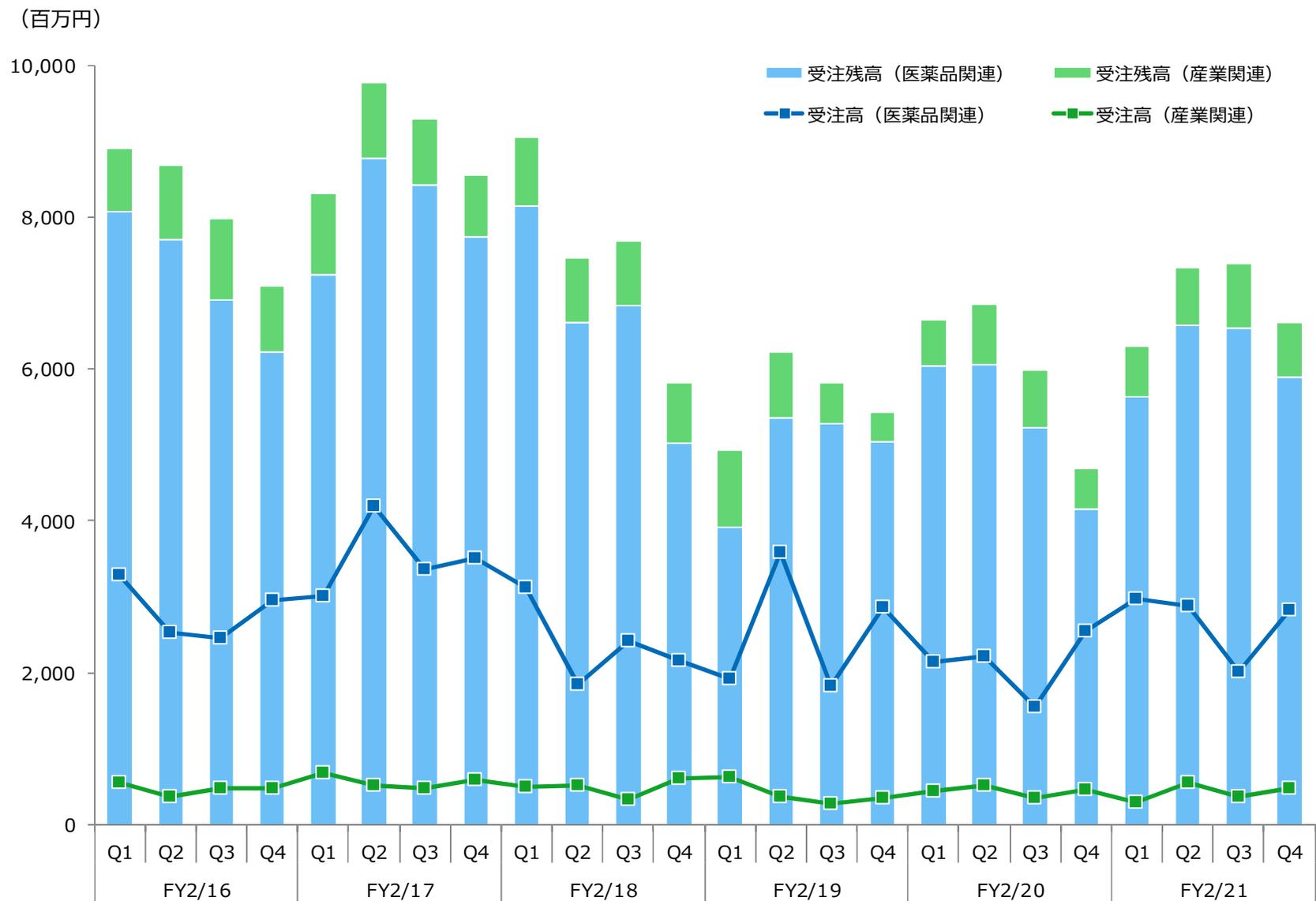
【売上高】

【営業利益率】

(百万円)



# 機械部門：四半期推移（受注高・受注残高）



## 化成品部門：概況

### ● 売上高

- 医薬品添加剤 : 一部製品についてユーザーの生産調整により減収
- 食品品質保持剤 : コロナ禍によるお菓子の売上低迷の影響で減収
- 健康食品 : ユーザーの在庫積み増し需要により増収
- 輸出 : 海外販売の裾野拡大中

### ● セグメント利益

- 減収及び利益率の低い健康食品の売上増加により、営業利益は減益

(単位：百万円)

	2020/2月期		2021/2月期	
	金額	前期比(%)	金額	前期比(%)
<b>売上高</b>	<b>5,654</b>	<b>△6.4</b>	<b>5,593</b>	<b>△1.1</b>
医薬品添加剤	2,869	△10.2	2,765	△3.6
食品品質保持剤	2,079	△3.4	1,889	△9.1
健康食品	704	+1.6	938	+33.2
(輸出売上高) ※ 1	155	△55.9	221	+42.0
<b>営業利益</b>	<b>781</b>	<b>△23.7</b>	<b>546</b>	<b>△30.1</b>

※ 1 主な輸出先：インド・韓国・中国・台湾 等

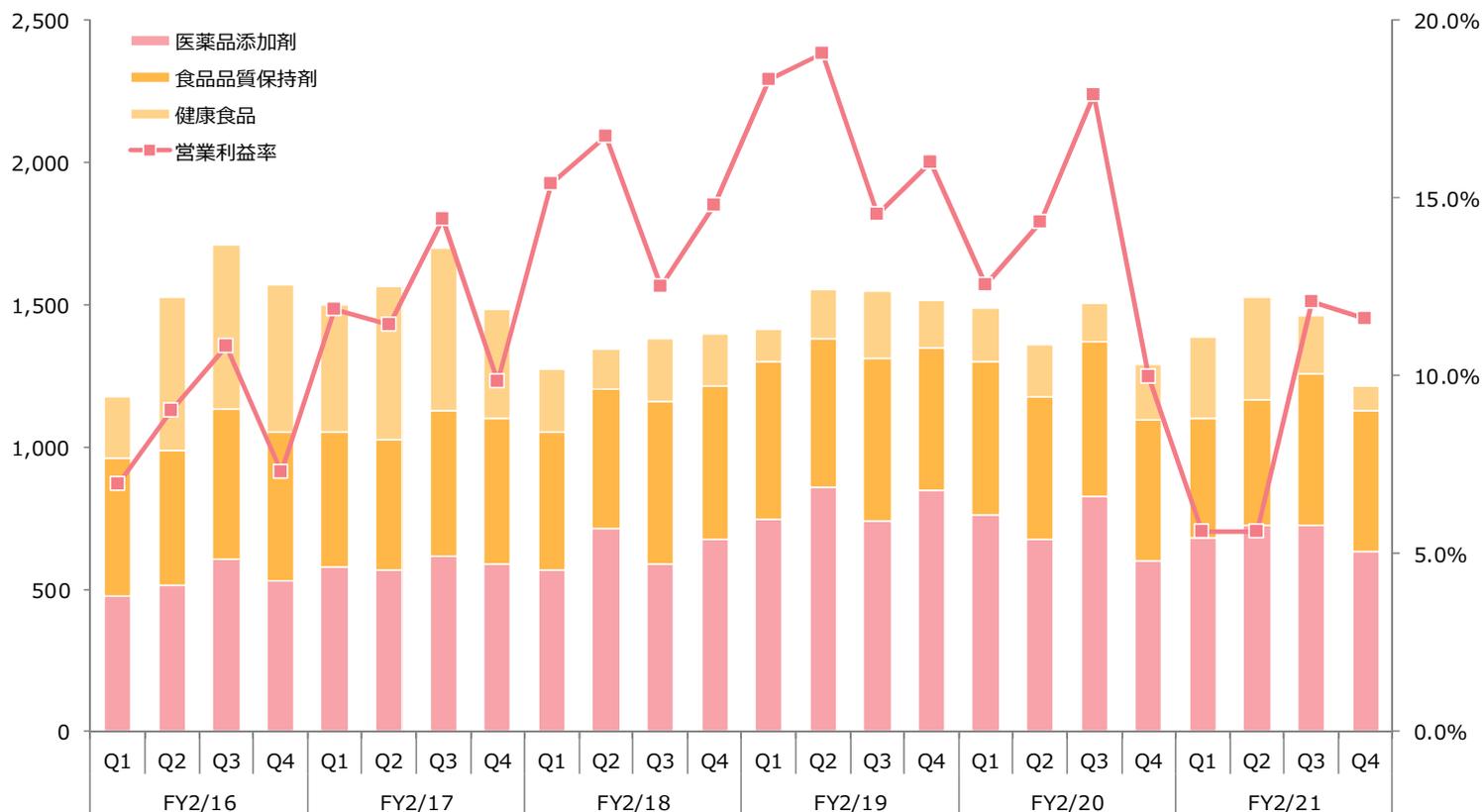
## 化成品部門：四半期売上推移（分野別）

- 医薬品添加剤は安定的に推移
- 食品品質保持剤は、コロナ禍によるお菓子需要の低迷により特に上半期が低調
- 健康食品は、ユーザーの在庫積み増し需要により上半期は好調

【売上高】

(百万円)

【営業利益率】



## 連結損益計算書サマリ

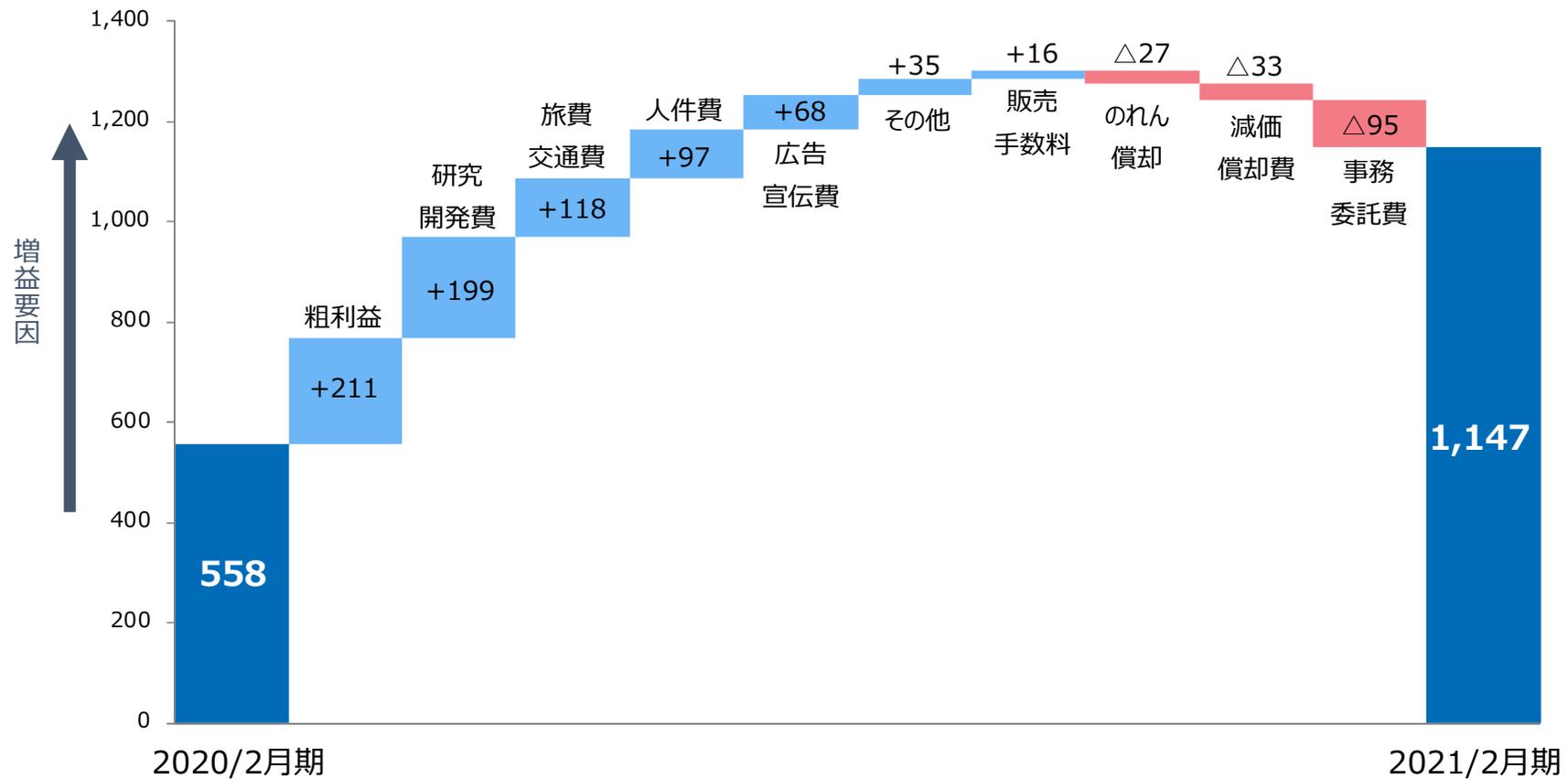
(単位：百万円)

	2020/2月期		2021/2月期		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	16,772	100.0%	16,765	100.0%	△ 7	△0.0%
売上原価	11,344	67.6%	11,126	66.4%	△218	△1.9%
売上総利益	5,428	32.4%	5,639	33.6%	210	+3.9%
販管費	4,870	29.0%	4,491	26.8%	△378	△7.8%
営業利益	558	3.3%	1,147	6.8%	+589	+105.5%
営業外損益	24	0.1%	197	1.2%	+172	+707.9%
経常利益	582	3.5%	1,344	8.0%	+762	+130.7%
特別損益	△ 14	-	△ 21	-	△7	-
税引前利益	568	3.4%	1,323	7.9%	+754	+132.7%
当期純利益	381	2.3%	995	5.9%	+614	+161.0%

# 連結営業利益増減分析

- グループ全体として経費削減を図り営業利益増益
- FREUND-VECTOR社において米国政府のコロナ対策補助金受け取り要因あり

(単位：百万円)



## 連結貸借対照表サマリ

(単位：百万円)

	2020/2月期	2021/2月期	増減額
流動資産	13,193	13,558	+ 364
現金及び預金	4,314	4,498	+ 184
売上債権	5,431	4,870	△561
棚卸資産	3,051	3,473	+ 421
固定資産	5,311	6,941	+ 1,629
有形固定資産	4,209	4,734	+ 524
無形固定資産	96	1,189	+ 1,093
投資その他資産	1,006	1,017	+ 11
資産合計	18,505	20,499	+ 1,994
流動負債	5,023	5,817	+ 793
仕入債務	3,121	2,966	△155
前受金	775	1,014	+ 239
固定負債	237	797	+ 560
退職給付に係る負債	165	280	+ 115
負債合計	5,261	6,614	+ 1,353
純資産合計	13,243	13,884	+ 640

### 無形固定資産

・Cos.Mec社  
買収によるのれん → 1,089

## 連結キャッシュ・フロー計算書サマリ

(単位：百万円)

	2020/2月期	2021/2月期
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 27</b>	<b>2,280</b>
税引前利益	568	1,323
減価償却費	386	414
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 1,106	674
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 590	△ 112
仕入債務の増減額 (△は減少)	921	△ 340
法人税等の支払額	△ 324	△ 174
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 852</b>	<b>△ 1,726</b>
Cos.Mec社買収による支出	0	△ 1,106
有形固定資産の取得による支出	△ 835	△ 469
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 325</b>	<b>△ 371</b>
リース債務の返済による支出	△ 3	△ 9
配当金の支払額	△ 333	△ 333
現金及び現金同等物 増減額	△ 1,220	184
現金及び現金同等物 期末残高	4,314	4,498
<b>フリー・キャッシュフロー</b>	<b>△ 880</b>	<b>554</b>

2022年2月期  
連結業績・配当予想



## 連結業績予想サマリ

- 受注獲得活動強化、グローバル化推進によるトップラインの拡大
- 前期特殊要因を除くと実質的には増益計画  
(前期米国子会社補助金約2.1百万ドルを除く営業利益は約9.2億円)

(単位：百万円/円)

	2021/2月期 (実績)	2022/2月期 (予想)	前期比増減	
			金額	%
売上高	16,765	18,500	+1,734	+10.3
営業利益	1,147	1,100	△47	△4.2
経常利益	1,344	1,130	△214	△16.0
純利益	995	790	△205	△20.7
一株純利益	59.47	47.18	△12.29	△20.7
為替(円/ドル：+は円高)	105.98	105.00	-	-
設備投資	637	-	-	-
減価償却費	414	-	-	-
研究開発費	526	-	-	-

## 部門別業績予想サマリ

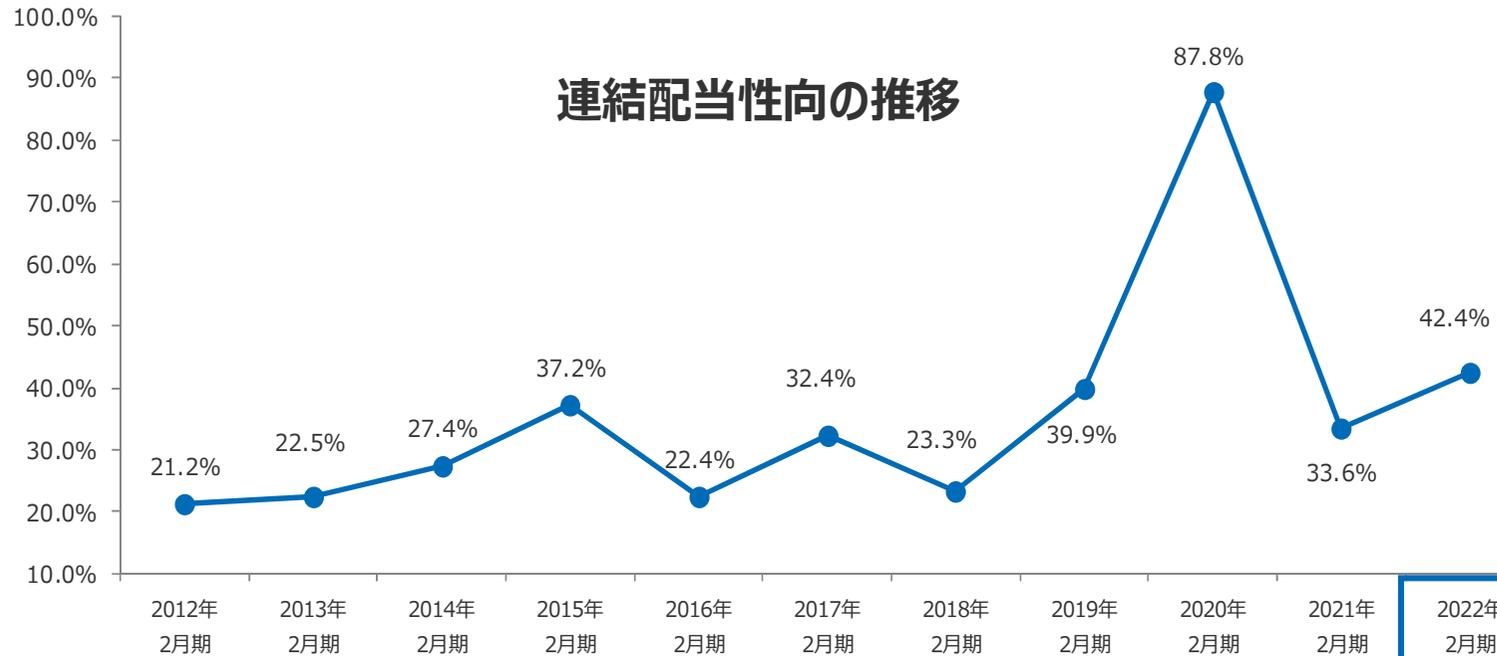
- 機械部門 : 受注獲得活動強化、日本・米国・イタリア・インドの4極体制で新興国を含む世界カバレッジを高める
- 化成品部門 : 前期特殊要因により増収となった健康食品の反動減を医薬品添加剤の増収でカバー

(単位：百万円)

	2021/2月期		2022/2月期 (予想)		前期比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
連結売上高	16,765	100.0	18,500	100.0	+1,734	+10.3
機械部門	11,171	66.6	13,100	70.8	+1,928	+17.3
化成品部門	5,593	33.4	5,400	29.2	△193	△3.5
セグメント利益	1,147	100.0	1,100	100.0	△47	△4.2
機械部門	1,084	94.5	-	-	-	-
化成品部門	546	47.6	-	-	-	-
全社、消去	△482	△42.1	-	-	-	-
為替(円/ドル：+は円高)	105.98	-	105.00	-	-	-

## 配当予想サマリ

- 2021年2月期は、昨年と同額の1株当たり20円の予定。
- 2022年2月期についても、1株当たり20円を予想。



	2012年 2月期	2013年 2月期	2014年 2月期	2015年 2月期	2016年 2月期	2017年 2月期	2018年 2月期	2019年 2月期	2020年 2月期	2021年 2月期	2022年 2月期 (見通し)
当期純利益 (百万円)	608	765	787	695	961	1,064	1,477	843	381	995	790
1株当たり配当金 (円)	7.5	10.0	12.5	15.0	12.5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
発行済株式総数 (千株)	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400

(注) 2009年6月1日付け及び2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。

# 第8次中期経営計画

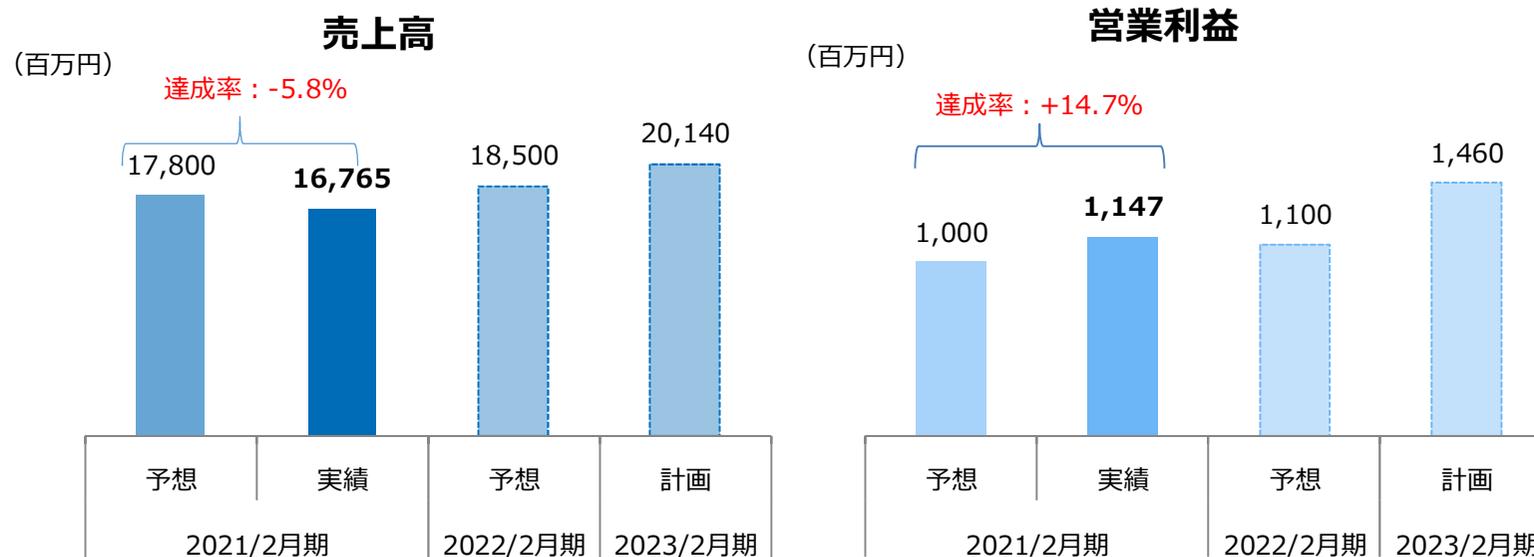


Copyright(C) 2021 Freund Corp. All rights reserved.



## 第8次中計による数値目標と実績推移

- 第8次中期経営計画における2021年2月期の連結売上目標は178億円でしたが、実績は167.65億円と6%程度の未達に終わりました。国内、アジア向け機械売上が計画を上回りましたが、国内化成品（添加剤、品質保持剤）、アジアを除く海外機械が計画にとどかなかったためです。
- 連結営業利益目標10億円に対しては、実績11.47億円と15%程度の上振れとなりました。内外の新型コロナウイルス感染拡大による営業経費の減少、米国政府のコロナ対策補助金受取りなどが主な要因です。



## 第8次中計初年度のレビューと今後の見通し

- 中計では2022年2月期の連結売上190.5億円、連結営業利益12.2億円を目標としていましたが、新型コロナウイルス感染収束の時期が不透明なため、目標を各々185億円、11億円に下方修正しました。中計策定時点で想定していなかったイタリアの子会社の売上が貢献することに加え、国内化成品の利益が回復することを期待しています。
- 中計最終年度の2023年2月期の連結売上201.4億円、連結営業利益14.6億円については、各々前年比9%、33%程度の増加が必要となります。今年度中に開設する中国の研究所を活用した機械、添加剤の販売増、米国とイタリアの子会社の共同販促による機械の販売増などにより、この数値は達成可能なレベルと考えております。

## 第8次中期経営計画

### 企業理念

創造力で未来を拓く

### 経営ビジョン

フロイントグループは、  
「世界中の人々の医療と健康の未来に貢献し、  
豊かな生活・食の安全・安心を支える技術を生み出し、育成していくことを目指します」

大切にする価値

ONE  
FREUND



### 特別な価値創造

それぞれの分野、事業で  
No.1を目指す



### 完全顧客視点

顧客、社会にとって  
Only Oneの存在を目指す



### ネットワーキング

グループがひとつになる

### 基本戦略

顧客の真のニーズに技術力をもって応え、  
持続的に利益成長する経営構造の実現を目指す

### 7つの経営目標

1. グループの連携
2. 完全顧客視点
3. イノベーション重視
4. グローバル経営
5. 成長戦略の実行
6. 業務改革と働き方改革の推進
7. コンプライアンス・コーポレートガバナンスの重視

## 第8次中期経営計画：7つの経営目標

### 1. グループの連携

グループ3社が一体組織としての意識を持ち、営業・開発で業務連携し、連結業績目標を達成する

### 2. 完全顧客視点

すべての面で最高の品質の製品を、お客様に満足できる価格とスピードをもって提供する

### 3. イノベーション重視

開発特化型企业として新製品開発に重点的に資源を投下するとともに開発計画の進捗管理を徹底する

### 4. グローバル経営

国内のシェアを高めつつ、顧客の海外市場シフトと海外市場の質重視のトレンドにグループ一体で対応する

### 5. 成長戦略の実行

M&A、事業アライアンス等により次の中計の基盤となる新事業の開拓、既存事業の非Organicな強化を図る

### 6. 業務改革と働き方改革の推進

非効率な仕事を排除し、働きやすい職場と高効率な企業体質を実現する

### 7. コンプライアンス・コーポレートガバナンスの重視

生産・品質管理体制の向上、内部統制の充実を図り、顧客や社会の信頼に応える健全な事業体制整備を進める

## イタリア Cos.Mec S.r.l.の株式取得(完全子会社化)

- 当社は2020年11月5日、イタリアの中堅機械メーカーCos.Mecの100%持ち分を同社Ownerから取得し、完全子会社化しました。Cos.Mecは1991年創業、社員数50名程度の中堅製剤機械メーカーです。同社の強みは、造粒機械などのプロセス装置と粉体ハンドリング装置などの周辺装置の双方を自社で製造していること、このため顧客の工場新增設のニーズにお応えできること、新興国の製薬メーカーを顧客に持っていること、などです。
- 同社は、Freund-Vectorが持たないプロダクト、顧客層を有しており、グローバルな機械販売強化に向けたフロイント産業、Freund-Vectorとのシナジー効果を期待しています。



Cos.Mec社 外観

## 中国 技術開発研究所 設立

- 当社は2022年2月期中に中国上海市において、当社機械と添加剤の顧客テストを行う研究所の開設を準備中です。
- 中国の製薬企業の新規機械導入ニーズはすでに増加していますが、添加剤にも同様の動きが見られています。当社は機械と添加剤の双方を製造できるメーカーとしての強みを生かし、上海市で両製品をテストし、その高い機能性を実感していただく目的で研究所を開設します。
- さらに将来は、この研究所で製剤処方設計を開発し、開発したノウハウを中国の製薬メーカーに供与することを展望しています。

■ 会社名

Freund-Chineway Pharmaceutical Technology Center Co., Ltd.  
(中国名：富仁德-昌为制药技术有限公司)

■ 所在地

中華人民共和国 上海市



FCセンター 外観



## (参考資料)

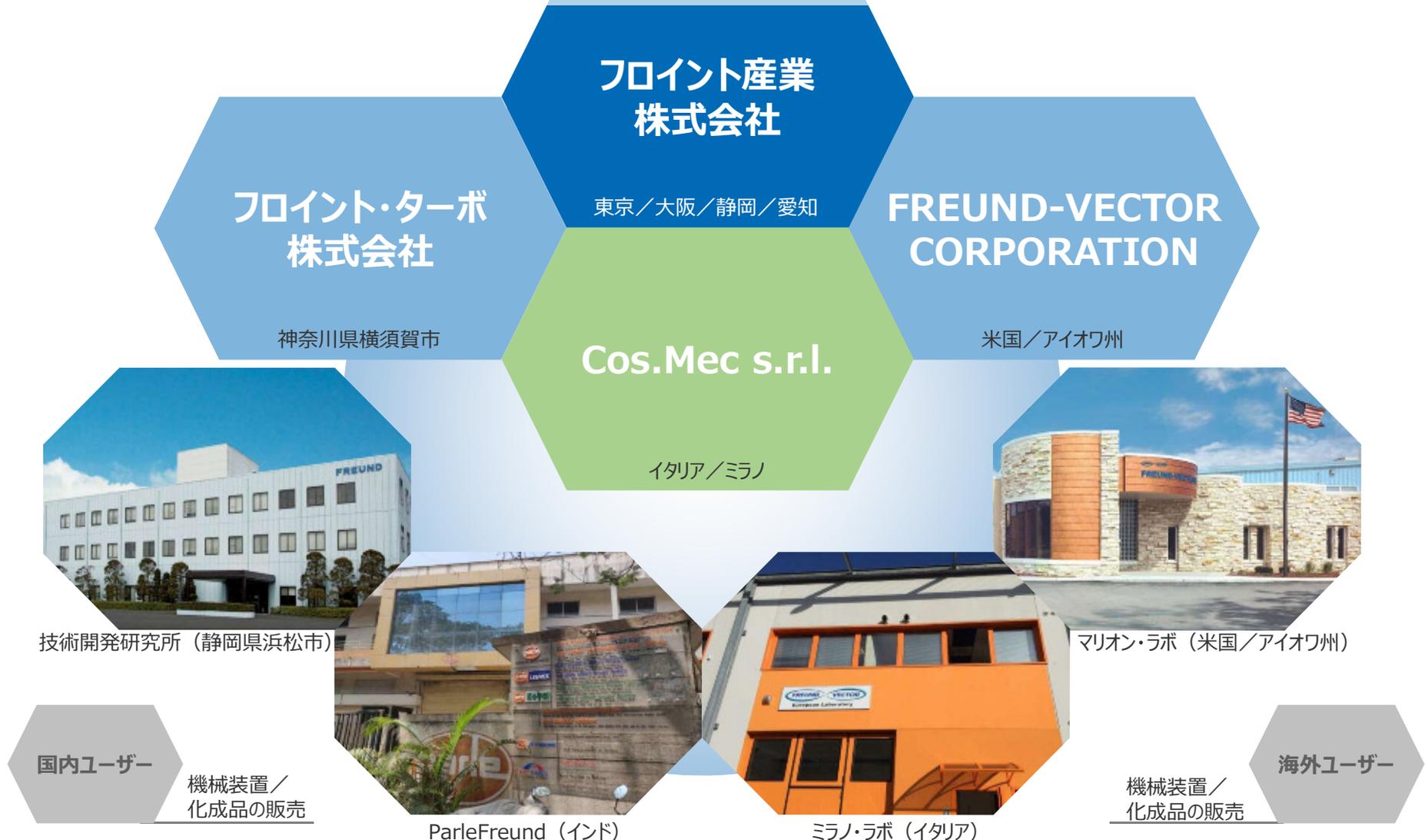
- ・ プロフィール
- ・ セグメント情報

## プロフィール

---

- 社名 : フロイント産業株式会社
  - 設立 : 1964年4月
  - 代表者 : 代表取締役社長 伏島 巖
  - 所在地 : 東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
  - 資本金 : 10億3,560万円 (2021年2月末現在)
  - 売上高 : 167億円 (2021年2月期：連結)
  - 従業員 : 484名 (2021年2月末現在：連結)
  - 事業内容 : 機械事業 …… 造粒・コーティング装置等の製造販売  
化成品事業 …… 医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
  - グループ会社 : FREUND-VECTOR CORPORATION  
フロイント・ターボ株式会社  
Cos.Mec s.r.l.  
Parle Freund Machinery Private Limited
-

## 独創的技術でのグローバル化を積極的に推進



# ビジネスモデルの特徴は「Pen」と「Ink」

## 1. 機械部門



- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ  
アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速  
世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力

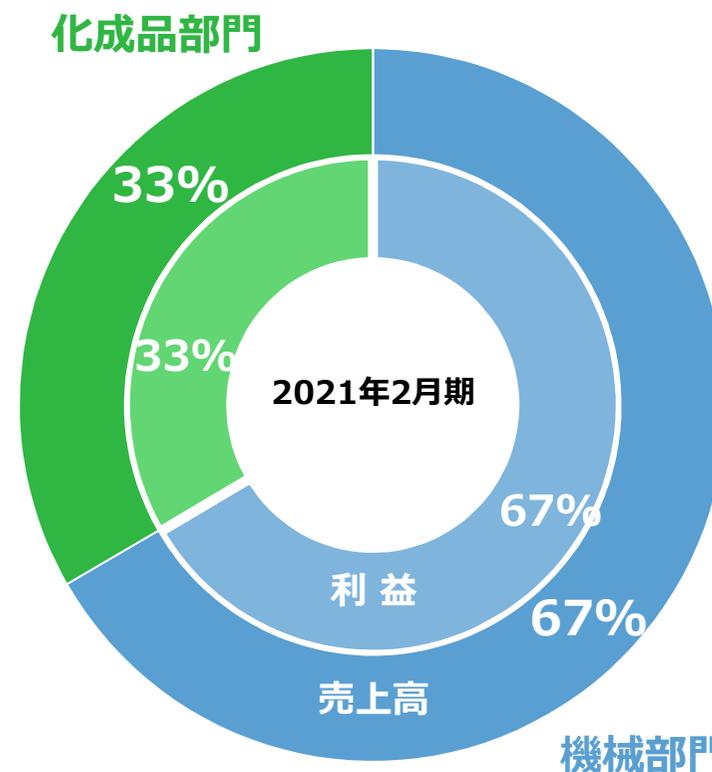
## 2. 化成品部門



- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化

※1 GMP : Good Manufacturing Practice

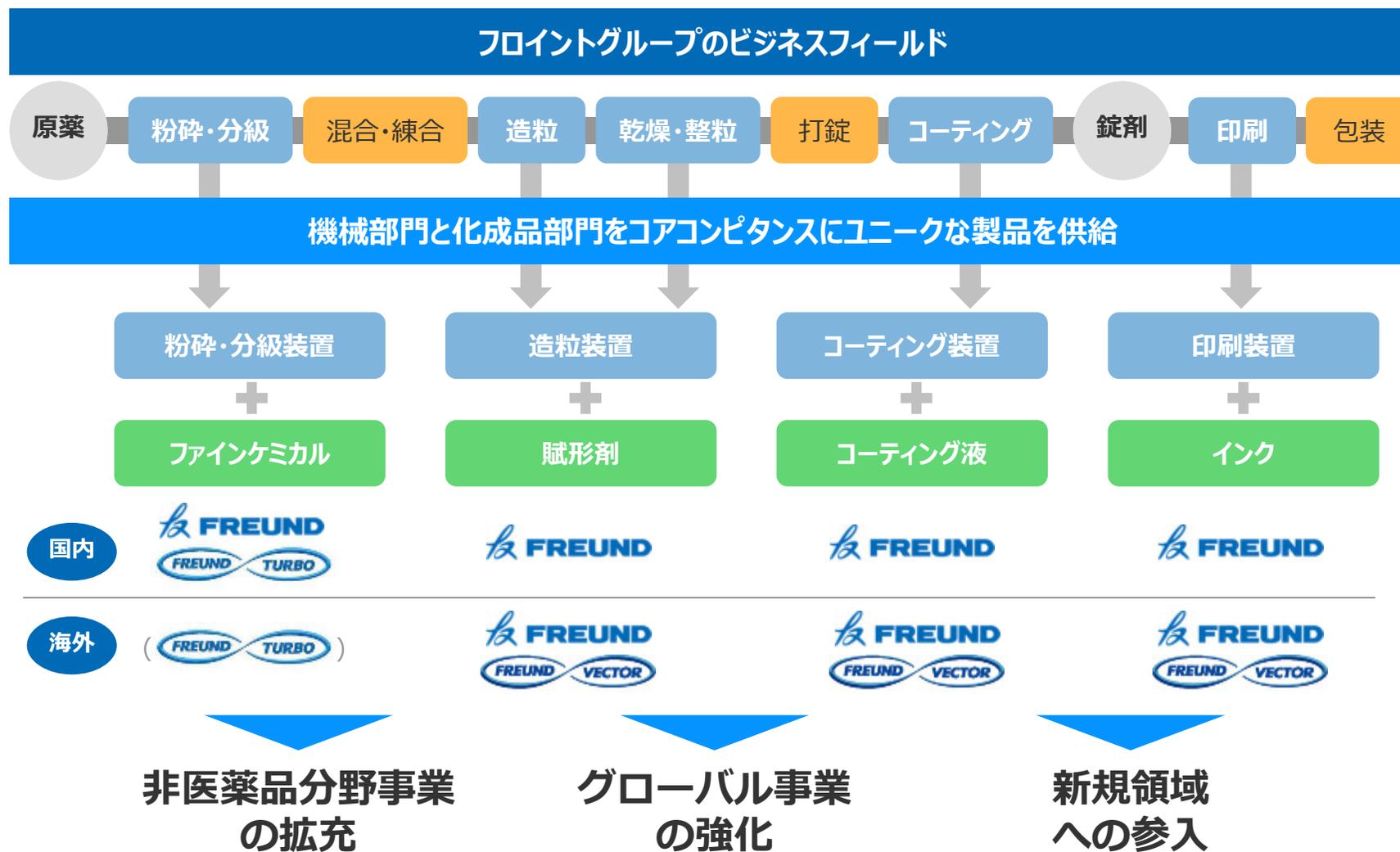
## セグメント別 売上高及び利益構成



連結売上高 **167.6**億円  
連結営業利益 **11.4**億円

# グループのビジネスフィールド

- 医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域



# フロントグループ ディスクロージャーポリシー

## 1. 情報開示の基本方針

当社は、広く社会に信頼される企業として、経営の透明性向上を重要な責務のひとつと考えています。その考えに基づき、すべてのステークホルダーの皆さまに、会社情報の公平かつ適時適正な開示を継続的に行います。

## 2. 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法などの関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示に関する諸規則にしたがって、情報開示を行います。

当社は、関係法令および適時開示に関する諸規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆さまの投資判断にとって必要であると考えられる情報については、積極的に開示いたします。

## 3. 情報開示の方法

当社は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム（Timely Disclosure network、以下「TDnet」という）を通じて情報を開示いたします。TDnetにより開示した情報は、情報開示の適時性・公平性に配慮し、速やかに当社のインターネットホームページに掲載いたします。

そのほかの情報についても、適時開示の趣旨に則り、プレスリリース、当社のインターネットホームページへの掲載などにより公平かつ迅速に開示いたします。より多くのステークホルダーの皆さまに分かりやすい開示を行うため、開示情報は日本語とあわせ、その英訳の開示に努めます。

## 4. インサイダー取引の未然防止

当社は、内部情報の適切な管理および株式などの売買などについて遵守すべき基本事項を社内規則に定め、インサイダー取引規制の周知徹底と株式などの売買管理体制の適切な運用により、インサイダー取引を未然に防止します。

## 5. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防止し、法令遵守および公平性を確保するため、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを「沈黙期間」と定めます。当該期間中は、決算に関連するコメントや質問・照会に対する回答は差し控えさせていただきます。ただし、業績が予想と大きく乖離する可能性がある場合には、適時開示に関する諸規則に従い適時適正に開示いたします。

## 6. 将来予測について

当社が開示する情報の中には、業績予想以外にも戦略、事業計画などの将来予測に関する情報が含まれておりますが、これらの情報は作成段階において入手可能な情報をもとに判断したものであり、その後の経済情勢や市場環境の変化などによって、将来予測は大きく異なる可能性があります。

(2017年3月27日制定)

# I R活動の方針

## 株主・投資家との建設的な対話に関する方針

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざし、株主・投資家の皆様との建設的な対話を積極的に進めます。当社の経営方針や経営状況、企業文化をわかりやすく説明し、株主・投資家の皆様のご理解を得て、「FREUNDファン」として継続的にご支援いただけるように努めます。

### 1. 推進体制株主・投資家の皆様との対話

取締役CFOが統括し、IR担当部署の経営企画本部が担います。

株主の皆様との対話を促進するため、社内の関連部門は、開示資料の作成・審査や必要な情報の共有など、積極的に連携を図り、公正且つ迅速に情報開示を行います。

### 2. ステークホルダーとの対話

当社は期末及び第2四半期の決算説明会（第1・3四半期はスモールミーティング）を実施し、その情報は当社ウェブサイト公開します。また、中長期経営計画を策定した際には、経営戦略や経営計画についてわかりやすく説明いたします。さらに、機関投資家への訪問も積極的に実施し、経営方針や業績の説明を行います。また、証券会社主催の投資家フォーラムや個人投資家説明会等にも参加します。

株主通信やFREUND Report（統合報告書）の発行、ウェブサイト専用ページ（<http://www.freund.co.jp/ir/>）の開設などにより、事業や財務情報とともに財務諸表に載らない資産（見えない資産）を紹介することで当社グループの企業価値を正しくご理解いただけるように、情報開示の充実に努めます。

### 3. 株主・投資家からの意見を社内へフィードバックする仕組み

株主・投資家の皆様との対話において把握された意見は、社長、取締役や関係各部に適宜報告し、情報を共有します。

### 4. インサイダー情報の管理

各四半期の決算期末日より決算発表日までの期間はサイレント（沈黙）期間とし、投資家の皆様との対話を制限しています。インサイダー情報については、社内の内部情報管理・内部者取引規制に関する規程に従い、情報管理の徹底を図っています。

---

**〈お問い合わせ先〉**  
フロイント産業株式会社  
経営企画本部 経営企画部・経理部

TEL:03-6890-0767  
FAX:03-6890-0870  
**E-Mail : ir@freund.co.jp**

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。